

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ブルースカイ 西浦和教室		公表日 令和 8年 3月 31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10			・部屋の鍵がお子様の手に届くところがあるので変更していただきたい。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	・シフトを作成していないので私は特に工夫している点はないが曜日一覧をみて適切な人数で出勤人数を調整していることは見えます。	・最近になり職員数はある程度確保されたが、小テーブルだとできない職員がいたり、集団が難しい職員がいたり担当決めの際気を配ることが多い。また、離職率が高く、保護者の目にどう映っているのか分からない。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10				
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	3	・その場での話になっているのでたまたまその時間にその場に居合わせた時にはなしたり、お昼休憩にその話になったりしているので、強いていうなら、いいえ。ではなく、どちらでもない。です。	・その日の振り返りはその日に共有したいと思っていますが、片付け等で中々できておらず、方法を考えたいと思っています。 ・その日出勤している人だけでも朝礼か何かでやってみてもいいかと思いました。	
	6 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	・その情報はあまり回ってこないのどちらとも言えないです。	・朝礼か何かでみんなが集まっている時に議題か何かで報告はあってもいいと思います。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	2	・ホームページを見ないため知りません。	・MISHIMAや各教室だけでなくブルースカイとしてのInstagramなど見やすいSNSにしてホームページにアクセスする回数を増やすといいかもしれません。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4	・いいえというよりどちらとも言えないです。		
	9 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	3	・研修の機会は設けてはいるが自由参加なのでその研修に行く先生はあまりおらず行きたいと言いつらいです。	・以前はありましたが現在研修がほとんどありません。 ・教室長判断でもいいので必要だと思う研修にどんどん行く機会を与えて欲しいです	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10				
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	1	・アセスメントツールとはなんでしょう…		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10				
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10				
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	2			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	1			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	10				
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10				
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	3		・18時終了で18時半退勤なので終了後の振り返りはできてないです	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10				
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10					

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	1		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	2		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6	4	・どちらとも言えないです	・医療的ケアが必要なお子様が通所していない為。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	5		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	1		・保護者から希望があれば行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	2		・保護者から希望があれば行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	3	・実際の療育を見ていただき、助言をしていただく事があります。	・やって欲しいです
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	4	・交流はあるが活動はないです。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	4		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	4	・療育時間内に保護者支援の話をする時があります。 ・多分教室長がやっているはずです。	
保護者への説明等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	1		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10		・教室長がお話しているはず	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	4		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	4		
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10			・十分に注意はしているが一部怪しい方もいる。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	1		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	4		
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	2			
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	4			

非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10		・青ファイルに記載してあれば確認はしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	3	・食事の提供はしていません。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	3		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	2		・研修はしているが、していない人は観覧を見るしかないので認知の差はあると思います
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10			